

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな 経済フラッシュ

## (日米 Market View : 日本株需給)

2024/4/8  
りそなホールディングス 市場企画部  
担当: 武居

### ○日本株需給分析

- ▶ 主体別売買動向によると、3/25~29にかけて海外は約2,100億円の売越し(2週ぶり)。個人は約4,400億円の買越し(2週ぶり)。GPIFの売買動向と連動する信託銀行は5,600億円の売越し(12週連続)(図表1)。GPIFによる日本株の買い余地は0.11兆円と推計(図表2)
- ▶ 自社株買い発表額は引き続き過去最高水準(図表3)
- ▶ 年初来海外投資家は日本株を買い越しているが、筆者は海外投資家からの資金流入が中期的に持続すると考えている。従って、日本株は大型優位の相場が継続すると見込む(図表4~5)。理由は次の2つ；①アベノミクス初期と比べると海外勢の買越し額は少額であり、デフレ脱却期待が高まるに連れ、更なる流入が見込まれること、②3Q決算の時点で既に活発な自社株買い発表アナウンスが相次いでおり、来る本決算でも積極的な株主還元姿勢が示される可能性が高いこと
- ▶ 海外投資家の日本株買いが継続するならば、ドル円は従来の日米金利差から示唆される水準よりも円安な水準で推移する可能性がある。アセットマネージャーの円ポジションとドル円の相関は、過去最低水準である(図表6~7)。アセットマネージャーが日本株を買う際に、ヘッジのための円売りを積極化している可能性が高い

(図表1)主体別売買動向(主要二市場、現物)

単位 10億円	現物							TOPIX (pt)
	海外	個人	法人					
			投資信託	事法	生損保+銀行	信託		
2024/3/2	383.5	-90.6	-156.9	-92.7	-62.8	-259.0	2,709.4	
2024/3/9	176.4	327.4	-239.3	-4.0	-99.2	-686.6	2,726.8	
2024/3/16	-87.5	494.2	-176.3	154.3	-39.7	-685.1	2,670.8	
2024/3/23	96.1	-872.7	-11.4	-30.3	-7.5	-72.3	2,813.2	
2024/3/30	-212.6	443.9	-128.5	-38.8	-62.5	-555.5	2,768.6	

(図表2)GPIFの日本株売買余地

■ GPIFの保有国内株式割合を仮に25%にするとした場合に必要な売買額の推計

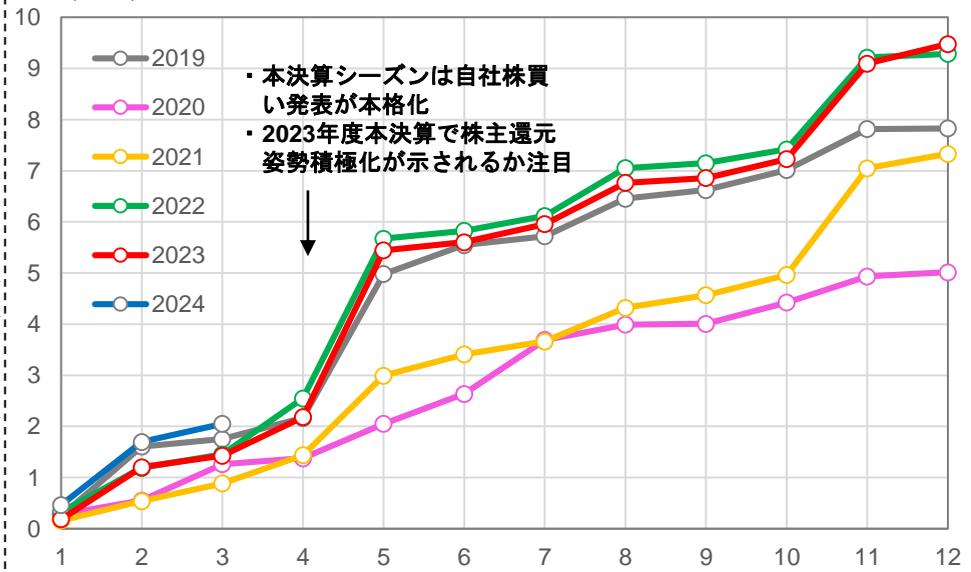
	04/05時点の推計	12/29日以降の信託銀行の 累積売買金額	差し引き
保有国内株式割合を仮に25%にする とした場合に必要な売買額の推計	-3.5兆円	-3.6兆円	0.11兆円

■ GPIFの運用状況推計

	2023/12/29時点		04/05時点の推計		基本ポートフォリオ	
	資産額 (億円)	構成比	資産額 (億円)	構成比	構成比	乖離許容幅
国内債券	583,450	25.8%	578,889	23.5%	25.0%	±7pt ±11pt
外国債券	553,277	24.4%	584,036	23.7%	25.0%	±6pt ±11pt
国内株式	558,258	24.7%	650,807	26.4%	25.0%	±8pt ±11pt
外国株式	569,157	25.1%	651,238	26.4%	25.0%	±7pt ±11pt
合計	2,264,142	100.0%	2,464,970	100.0%	25.0%	-

注: ベンチマークとしているインデックスの決算時点以降の価格変動率のみから推計

(図表3)自社株買い発表額推移(月次、年別)



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

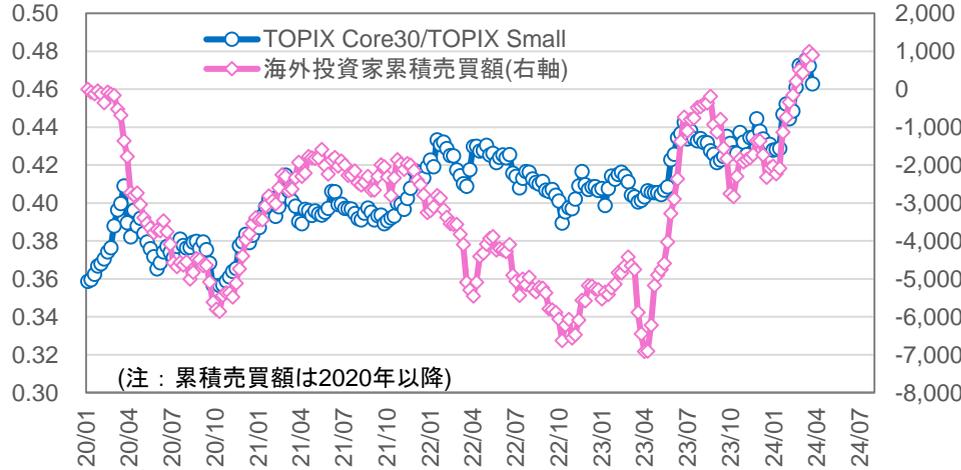


# りそな 経済フラッシュ

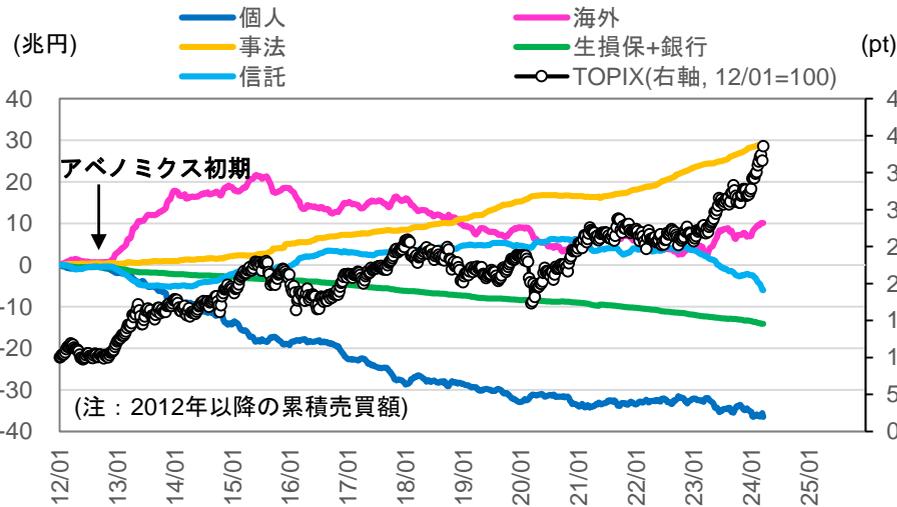
## (日米 Market View : 日本株需給)

2024/4/8  
りそなホールディングス 市場企画部  
担当: 武居

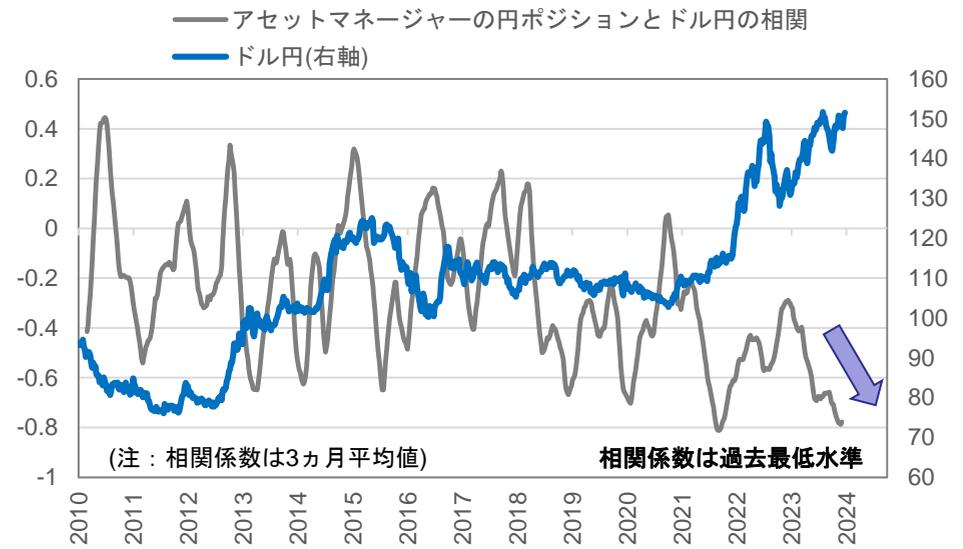
(図表4) TOPIX Core30/TOPIX Smallと海外投資家累積売買額 (10億円)



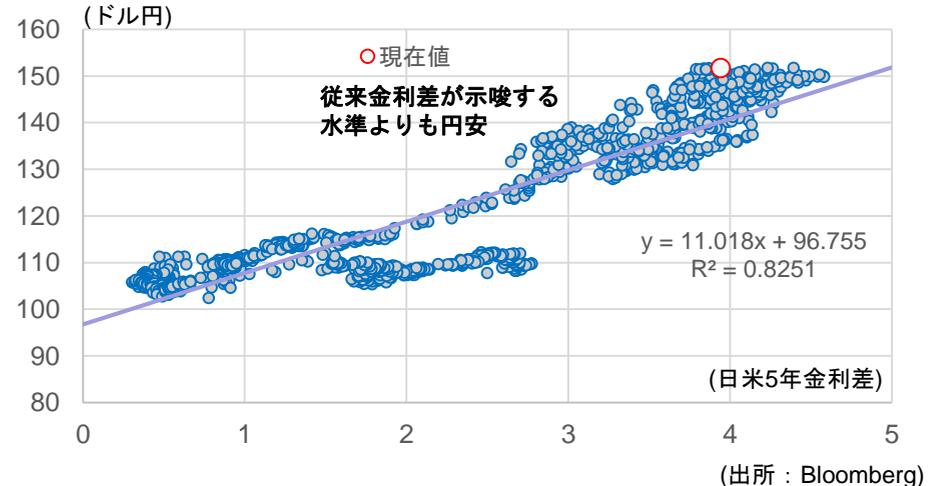
(図表5) 主体別累積売買額の推移(主要二市場、現物)



(図表6) アセットマネージャーの円ポジションとドル円の相関とドル円



(図表7) 日米5年金利差とドル円の関係(2019年1月~)



◎注意事項  
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

(出所: Bloomberg)